

第3次沖縄県環境基本計画（案）のポイント

環境部では、昨年度から策定作業を開始し、学識経験者等からなる検討委員会（8回）やパブリックコメント、シンポジウム、市町村及び各部局への意見照会等を経て、令和5年2月に県の諮問機関である環境審議会から答申を受けたところです。

現行計画（第2次）からの変更点の主なポイントは以下のとおりです。

【主なポイント】

1 沖縄県が目指す環境像の見直し

第3次計画の沖縄県が目指す環境像について、沖縄県環境基本条例の基本理念や現行計画の同環境像を引き継ぐだけでなく、国の第五次環境基本計画や新・沖縄21世紀ビジョン基本計画を踏まえ、「沖縄の豊かな自然の恵みを継承する、持続可能な循環共生社会」とした。

2 国の計画を踏まえ、基本目標を新たに追加

沖縄県が目指す環境像を実現するための基本目標として、現行計画で掲げた5つの基本目標「自然共生」「資源循環」「地球環境保全」「環境と経済」「環境の継承」に加え、第3次計画では国の第5次環境基本計画などを踏まえ、新たに「地域間連携強化」「科学技術活用」という、5つの基本目標を下支えする目標を2つ追加した。

3 今般の環境問題を踏まえた「現状と課題」の整理

本県における環境に関する現状の変化に合わせて、第2章において「自然環境保全と調和するツーリズム」「自然環境の再生」「脱炭素社会の実現に向けた取組」「海洋プラスチックごみ問題」「自然環境の経済的価値評価」「返還跡地の円滑な利用のための環境調査」を追加した。また上記2の基本目標「地域間連携強化」「科学技術活用」の追加に合わせて、これらに関する現状と課題も追加した。

4 新・沖縄21世紀ビジョン実施計画の取組を施策体系に沿って整理

第3次計画を、新・沖縄21世紀ビジョン基本計画及び実施計画を環境面から推進する計画として位置付け、第3章において、実施計画における環境に関連する取組を第3次計画の施策体系に沿って整理した。

5 新たな評価方法を追加

基本目標ごとに目標達成指標を設定し、各基本目標の達成度合いを数字で見えるようにした。なお、基本目標の達成状況の評価にあたっては、取組の成果を数値で表すことができないものもあるため、上記の基本目標達成指標だけでなく、取組の進捗状況を考慮した従来の総合的な評価も併せて行う。